

**今月の一言** 都市には勢いが必要である。が、「勢い」だけではいい都市はできないし、手順にこだわりすぎると、「勢い」を失いかねない。状況と立場に応じて、都市づくりの「旬」を見極めるのも重要な視点であろう。(岡村 眞)

## Topics

- 4月16日に開催する第4回NSRI都市・環境フォーラムは、竹村公太郎氏(財団法人リバーフロント整備センター理事長)によるご講演「広重に見る21世紀の日本文明」です。詳細は<http://www.1k.mesh.ne.jp/toshikei/>まで。

### 身近な海から見た地球温暖化問題

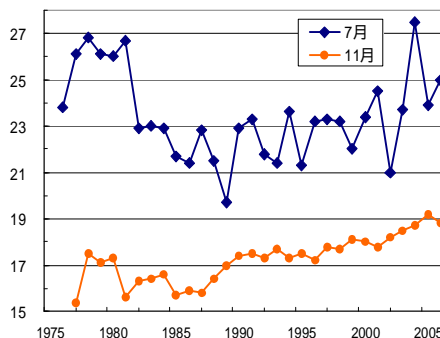
今年はいよいよ洞爺湖サミットの年でもあり、低炭素型社会の実現に向けて、都市・まちに関しても様々な取り組みが行なわれているところです。国レベルでも政府は、世界の先例となる先駆的な取り組みにチャレンジする「環境モデル都市」の募集を行い10ヶ所が選定されます。また国土交通省では、地区・街区レベルでの環境負荷削減対策を強力に推進するために「先導的都市環境形成総合支援事業」として新たな支援措置の創設を図っています。

このような低炭素型社会実現の取り組みを具体的に推進するにあたっては、その都市がおかれている立地特性(地域特性)は大きな前提となりそうです。臨海部に発達した大都市が多数位置するわが国では、近接する湾(海)は環境的にも重要な役割を果たしています。特に首都圏では東京、横浜、川崎、千葉などの大都市が東京湾岸に連なるように位置しており、東京湾と密接な関わりを持っているのですが、私たちはそのことをなかなか意識する機会がありません。

昨今、ヒートアイランド現象を解消するために「海からの風の道を確保する」提案・計画を耳にします。或いはCO<sub>2</sub>削減のための未利用エネルギーシステムとして海水熱利用や、下水道に放熱された廃熱の放流先としての湾(海)の利用が考えられます。さらにはCO<sub>2</sub>の吸収量では陸地の約2倍が見込めるとの報告もあります。しかしながら湾(海)はこれから先も安定した都市域の「冷気供給元」、「採熱利用先」、「廃熱の処理先」になってくれるのでしょうか?

図は東京湾の過去約30年の海表面の月別温度の長期変動を示しています。既往の研究では、春～夏には温度の下降傾向が確認されています。これについては温度が低い外洋水の湾内流入によって湾内海水温度が下がる原因が指摘されていますが、90年代後半からは上昇する傾向にあります。一方で秋～冬には温度の上昇傾向が確認されています。特に冬期11月頃では過去30年で2.0以上も上昇しており、関東の東側海域における過去100年での1.0弱の上昇に較べると大幅な上昇傾向です。原因として工場や下水処理場などからの放流水の水温

東京湾の海水温(海表)の長期変動



上昇や高温水滞留などいくつか指摘されていますが、いずれにせよ外洋の温暖化傾向に較べると大幅な水温変動の傾向が確認できます。このような高温化傾向は大阪湾、博多湾などでも見ることができます。海水温度は都市気温と相互影響を及ぼしているため、これからの環境まちづくりを考えていく際に軽視できない問題です。

「冬は暖かくなっていいのでは!」ということも考えられますが、冬期の主風向が北であることを考えると期待は薄まりそうです。夏期も海風の温度が上がるのは良い傾向ではなさそうです。さらに見逃せないのは、年間を通じた蚊の繁殖や病原菌による感染症の拡大が現実的に懸念されることです。例えば海底でプランクトンと共生している腸炎ビブリオ菌は、水温が15を超えると海表近くに出て魚を汚染する傾向があります。また、1990年の南米でのコレラの流行とエルニーニョが関連づけられた報告もあるようです。

私たちの都市と近接する湾(海)は、身近であるにもかかわらず相互影響を見落としがちですが、環境配慮都市・まちづくりをさらに推進していくためには、欠くことのできない大切なパートナーです。資源や環境ポテンシャルのバランスに十分に配慮しながら、有効に活用する方策の検討が期待されます。

2050年の「江戸前」がカラフルな魚にならないように・・・  
(山村 真司)

注) グラフは、千葉県水産総合研究センター HP「東京湾海況情報」、神奈川県水産技術センター HP 東京湾口海峡情報等、及び下記の参考文献をもとに推定し作図。

- ・東京湾における水温の長期変動について: 東京都環境科学研究所、海の研究、2003年
- ・温暖化産地激変マップ2008年: 読売ウイークリ、2008年3月9日

### 定期配信をご希望の方

定期配信を御希望の方は、下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

(chihiro.kimura@nikken.co.jp 担当: 木村千博)

### 編集後記

桜の開花が早くなったのは、地球温暖化の影響との指摘があります。私たちが低炭素型社会に向けた意識や行動を身につけるには、「桜」や「江戸前」のように身近な話題が出発点かもしれません。(F)